

## 平成 28 年度第 1 回佐賀県 I C T 利活用教育推進協議会議事概要

1 開催日時 平成 28 年 11 月 2 日（水曜日）15 時 30 分から 17 時 15 分

2 開催場所 特別会議室 A（佐賀県庁新行政棟 4 階）

3 委員出席者（敬称略）

藤原久嗣委員、東島正明委員、天野昌明委員、今村統嘉委員、田代高規委員、草場浩委員  
大串和人委員、大坪春美委員、小柳勉委員、船木幸博委員、北村喜久次委員、松尾雅晴委員  
小野田哲也委員、菊地尚樹委員、有須田修治委員代理、川原学委員代理、北原成之委員代理  
浅井雅司委員代理、山口秀樹委員代理、福田泰司委員代理、稲富和人委員代理

4 教育委員会出席者

古谷教育長、宮崎教育庁危機管理・広報総括監、礎教育情報化支援室長、土井教育情報化副室長 他

5 議事概要

（1）開会

（2）佐賀県教育委員会挨拶 古谷教育長

本日は、お忙しい中、平成 28 年度第 1 回佐賀県 I C T 利活用教育推進協議会にご参加いただき、誠にありがとうございます。県教育委員会を代表して、一言、ご挨拶申し上げます。

まず、既に御存知のことと思いますが、学校教育ネットワークに係る不正アクセス事案につきましては、会員の皆様方にも多大な御心配をおかけいたしております。

県教育委員会としては、先日、佐賀県学校教育ネットワークセキュリティ対策検討委員会からいただいた提言を、真摯に受け止めるとともに深い反省に立って、こうした事案を二度と繰り返さないように、提言を踏まえた情報セキュリティ対策にしっかりと取り組んでまいります。

さて、県教育委員会では、新たな時代に対応した教育の実現に向け、全県規模で、I C T 利活用教育の推進に取り組んでいます。県立高校においては、平成 26 年 4 月から、1 年生から順次、学習用パソコンを導入し、今年度で 3 学年全てに導入が完了したところです。

また、各市町におかれても、昨年度中に、電子黒板について、全ての市町立小・中学校の全普通教室に各一台の整備を終えられ、積極的な取組が進められているとお聞きいたしております。本日の協議会では、立命館大学教育開発推進機構 教授 陰山英男様をお招きして、これからの教育と I C T 利活用について、国などの動向を踏まえた、御講話をお願いしております。その後、各市町の取組の意見交換を予定いたしております。

教育の情報化を推進するにあたっては、県と市町が一体となって、計画的・組織的に取り組むことが何より重要であり、そのための連携と協力が不可欠でございますので、今後とも、よろしくお



願いたします。

最後に、本日の協議会が、会員の皆様にとって有意義なものとなり、ICT利活用教育を通じた本県教育の質の向上につながっていくことを祈念して、県教育委員会からの挨拶いたします。

本日はどうぞよろしく願いたします。

### (3) 委員紹介

### (4) 県の取組について 教育情報化支援室 碓室長

ICT利活用教育の推進については、市町の教育委員にも、ご協力いただきながら、取り組ませていただいている。ついては、今年度の状況を説明させていただきたい。

まず、県立学校における学習用パソコンの活用状況である。授業外の部活動でも活用し、農業高校や工業高校、特別支援学校での実践など、徐々に浸透している。これに向けては、推進協議会で全体的な枠を作っていただき、県立と市町の推進チームの取組によって、ICT利活用の広がりがみられるようになってきている。また、県立と市町の推進リーダーとの交流も行い、子どもたちの発達段階の応じた指導のあり方についても、情報交換を行っているところである。



教材作成についても、国、数、理、英、社、農業、工業、商業などのそれぞれの教科について、モデル指導資料として充実を図り、市町の推進リーダーの先生方とも情報を共有化したところである。これは、推進チームの先生方が独自に作成された英語の教材である。音声などを出るように工夫されている。農業高校では、生徒が持ち帰って学習ができるように、受粉の動画を作成し、授業での活用が図られている。

人材育成についても、管理職研修や経験者研修等、市町の方でも参加いただいているが、それ以外にも、教科別の授業研究会やプレゼンテーション研修、訪問研修等、1年を通して取り組んでいる。特に、プレゼンテーション研修については、日本マイクロソフト社のエバンジェリストから講師を招いて300人程度参加いただいた。人材育成における指導力向上に向けた取り組みとして、ICT利活用教育指導事例発表には、市町からも応募いただき、小学校、中学校から発表していただいた。

また、生徒のプレゼンテーション能力を育成するということで、高校生対象であるが、全県から応募があり、12月のプレゼンテーション大会にて、表彰をする予定である。教育フェスタにも、教育長様方にもご出席いただいたが、2日間で、2000名の参加があった。

今後、県内5校の会場で操作体験会を開催し、高校入試の問題を用いて、保護者と生徒向けの模擬授業を行う予定である。そのことについては、資料の中に入れていたので、後ほど、目を通していただきたい。また、高校での学習用パソコンの活用についてイメージを持ちやすいように、中学3年生の生徒・保護者向けのリーフレットも入れている。

学習用パソコンの効果的な活用についても、紹介させていただきたい。学習用パソコンについては、一斉、個別、協働の学習場面で活用を図っている。まず、個別学習における数学の教材である。先生が解答を動画で説明している。生徒は、自分の家でこの動画を見ながら学習することができる。次に、工業高校で作成された教材である。のこぎりの使い方についてポイントを分か

りやすく動画で作成されている。この教材を使用した学校の生徒のほとんどが、木工の資格試験で合格したという結果が出ている。最後に、英語のスピーチにおける活用についてである。教科別研修会での授業で、最初は電子黒板を活用し、次に、学習用パソコンにてスピーチの練習に取り組みさせている。ただ、最後の部分のライティングについては、学習用パソコンを使わずに、ノートに書かせている。このように、学習用パソコンについては、その特性を生かせる場面で効果的に活用しているところである。

現在、県内の中学校 3 年生の保護者と生徒を対象に、高校での ICT 利活用教育の様子を紹介させていただいているが、今後とも、市町教育委員会の協力をいただきながら、進めさせていただきたい。

#### (5) 講話

演題：「これからの教育と ICT 利活用について」

講師：立命館大学教育開発推進機構 教授 陰山英男 氏

#### (6) 意見交換

##### ○佐賀市

- ・電子黒板については、毎時間のように各学校の授業等で活用されている。特に、先進的に取り組んでいる学校について、学力の向上がみられる。
- ・特別支援学級における ICT の活用は有効で、タブレットを導入する予定である。
- ・パソコン室のパソコンをハイブリット型パソコンに更新し、普通教室に持ち込んで活用できるようにしている。

##### ○唐津市

- ・全学級に電子黒板を整備し、毎日の授業の中でデジタル教科書や自作教材などを活用している。
- ・特別支援学級に、タブレット型情報端末を整備し、学習用アプリを活用している。
- ・テレビ会議システムを導入し、島の学校と交流校とで児童生徒の交流を行っている。

##### ○鳥栖市

- ・全学級への電子黒板の整備が終わり、小学校 4 教科、中学校 5 教科でデジタル教科書を導入し積極的な活用を図っている。
- ・パソコン室のデスクトップ型パソコンを次年度更新する予定だが、タブレットの導入については、無線 LAN の整備と同時に進めていく計画である。

##### ○多久市

- ・平成 21 年度に県内で先駆けて電子黒板の整備を行い、導入から 7 年経っているが、リプレースの予算確保が難しい。今年度、教育情報化計画を策定し計画的な予算要求に努めている。
- ・タブレットについては、今年度、中央小学校で実証研究を行っている。

##### ○伊万里市

- ・電子黒板については、昨年度、整備が完了し、電子黒板と実物投影機を活用した授業を積極的に実施するようにしている。
- ・学習用端末については、パソコン室のパソコンの更新に合わせて、段階的にタブレット型パソコンを導入する予定である。

##### ○武雄市

- ・普通教室への電子黒板の整備は完了したが、特別教室での電子黒板の有用性も感じているところである。
- ・学習用端末については、小中学生全員にタブレットを配布している。積極的に活用を図っている学級の児童生徒については、学習に対する興味・関心が高い結果が出ている。課題は、家庭学習とのつながりである。

#### ○鹿島市

- ・市内各学校の普通教室への電子黒板の整備が終わり、積極的な活用が図られている。
- ・タブレットの導入については、パソコン室のリプレイスに伴って、段階的に整備していく計画である。

#### ○小城市

- ・平成 27 年度から文部科学省委託事業を受け、ICT 利活用教育を推進している。特に、情報モラルについて取り組み、カリキュラム作りを行っている。
- ・推進協議会を設置し、現場の先生方によるボトムアップの推進を図っている。

#### ○神崎市

- ・オンライン英語レッスン事業で、陰山先生の助言をいただきながら、フィリピンの英語教師との個別学習に取り組んでいる。
- ・電子黒板や書画カメラなど ICT 環境は整備したものの、活用については、まだまだ十分であるとは言えない。
- ・電子黒板等の ICT の特性を生かした授業を実践し教師の ICT 指導力を向上させる必要がある。

#### ○吉野ヶ里町

- ・小中学校の全学級に電子黒板が整備され、デジタル教科書も導入され、活用が図られている。
- ・便利にはなったが、電子黒板等の ICT の特性を生かした授業に取り組んでいく必要がある。
- ・パソコン室のパソコンをタブレットに更新した。普通教室での活用を図るために、今後、無線 LAN の環境を整備する必要がある。

#### ○基山町

- ・昨年度、電子黒板が整備され、積極的な活用が図られているが、子供たちへの効果的な活用について、今後、工夫を図っていく必要がある。
- ・中学校で、タブレット型パソコンを導入した。今後、無線 LAN の整備が必要である。
- ・ICT の導入及び整備の効果について、問われているところである。

#### ○上峰町

- ・電子黒板については、各学校、普段からよく活用が図られている。
- ・タブレットについては、小学校 5・6 年生において、オンラインによるマンツーマン英会話で活用している。
- ・塾と連携し、中学校の放課後補充学習において、タブレットを活用している。

#### ○みやき町

- ・町の理解により、ICT の環境整備が進められ、全教室に電子黒板が常設され、タブレットも導入されている。
- ・先生方の授業活用も図られ、夏季休業等利用して ICT 利活用関係の研修会が積極的に行われている。
- ・ICT の特性を生かして、学力向上に取り組んでいきたい。

○玄海町

- ・平成 27 年度の小中一貫校開設時に、ICT のハード面の整備を終えた。タブレットの導入については、その特性を生かした活用の在り方を探っていききたい。
- ・電子黒板の活用として、国内の学校とのテレビ会議システムによる交流を行い、来年は、海外との交流を計画している。

○大町町

- ・電子黒板については、全ての普通教室に整備し、書画カメラやデジタル教科書、自作教材など、授業において、日常的な活用が図られている。
- ・タブレットについては 6 人に 1 台という配備状況であるが、中学部とも活用がよく図られている。
- ・ICT 支援員の配置ができていないので、今後、検討していききたい。

○江北町

- ・電子黒板について、全普通教室への整備ができているが、音楽や美術などの技能教科での活用を図りたい等という要望あり、その整備に向けて検討している。
- ・課題として、ICT 機器のメンテナンス等の予算確保が考えられる。

○白石町

- ・電子黒板は全普通教室への設置が完了し、日常的な活用が図られている。ICT 支援員については町内 11 校の学校に対して 4 人配置して授業支援等を行っている。
- ・タブレット型パソコンの授業の活用も進んでいる。
- ・今後の課題として、ICT 利活用の質を高めることや学力向上に向けた家庭学習の定着のための効果的な活用について考えていく必要がある。

○太良町

- ・町の取り組みとして、子供の目線から見た町づくりについて、子供たちがプレゼンテーションを行い、大人では気が付かないことも発表し工夫して伝えていた。
- ・ICT 支援員に各小中学校の授業の様子を動画で撮影させ、ケーブルテレビで放送し、保護者や地域の方々に紹介している。

## 6 事務連絡

次回開催については、3月を予定。